

平成30年度宮崎県道路メンテナンス会議(第1回)

日時 平成30年7月18日(水)

14時30分～

場所 JA・AZM(アズム)ホール本館 大ホール
(宮崎市霧島1丁目1番地1)

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 平成 29 年度点検実施状況及び点検結果

(2) 平成 30 年度点検計画の確認

(3) 研修・広報計画

～ 休憩 ～

(4)意見交換

4. 閉会

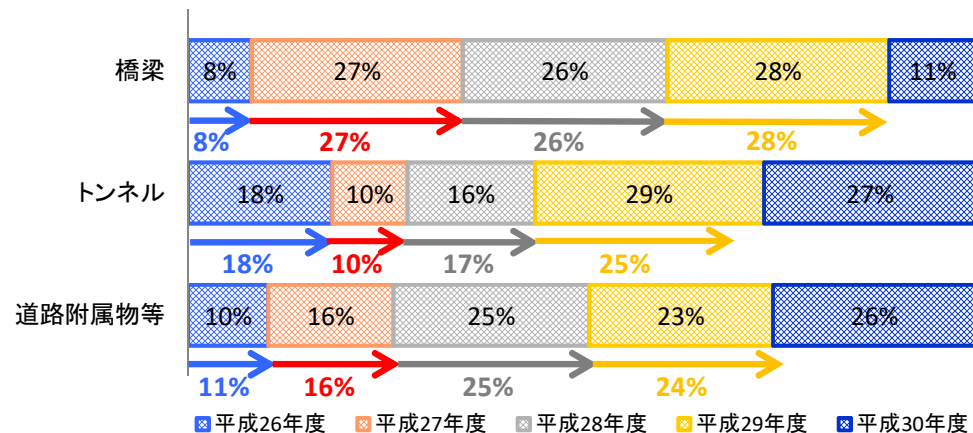
平成30年度 宮崎県道路メンテナンス会議（第1回）座席表

JR 宮崎総合鉄道事業部 (公) 県建設技術推進機構 宮崎県 宮崎県道路公社 理事長 宮崎県 道路保全課長 宮崎河川国道事務所 所長 延岡河川国道事務所 所長 宮崎高速道路事務所 所長 地域道路調整官 道路保全企画官			九州 地方整備局								
高鍋町 建設管理課長 新富町 都市建設課長 西米良村 建設課長 木城町 環境整備課長 川南町 建設課長 都農町 建設課長 門川町 建設課長 諸塚村 建設課長 椎葉村 建設課長 美郷町 建設課長 高千穂町 建設課長 日之影町 建設課長 五ヶ瀬町 建設課長			日時：平成30年7月18日（水） 会 議：14：30～ 会場：JA・AZMホール 本館大ホール 〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1番地1 自治体関係者の随行者は 委員の後方に椅子を用意しております。			宮崎市 建設部長 都城市 土木部長 延岡市 都市建設部長 日南市 建設部長 小林市 建設部長 日向市 建設部長 串間市 都市建設課長 西都市 建設課長 えびの市 建設課長 三股町 都市整備課長 高原町 農村建設課長 国富町 都市建設課長 綾町 建設課長			宮崎市 宮崎市 都城市 延岡市 日南市 小林市 日向市 串間市 えびの市 えびの市 三股町 高原町 綾町		
(事務局) (事務局) (事務局) (西日本高速道路)(宮崎県) (宮崎県) (宮崎県) (宮崎河川国道) (随行者) (事務局) (事務局) (JR九州)(JR九州) (延岡河川国道) (宮崎河川国道) (随行者) (事務局) (宮崎県建設技術推進機構) (宮崎河川国道) (記者席) (記者席) (記者席)			(受付)								

○平成26年7月の省令施行を踏まえ、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1回の近接目視による点検計画を策定。

平成29年度末の点検実施率は、橋梁約89%、トンネル約70%、道路附属物等約75%。

<5年間の点検計画と平成26～29年度の実施状況>



道路施設	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
橋梁	9,660	8,637	8,615	89%
トンネル	244	176	172	70%
道路附属物等	403	299	304	75%

※ H30.3月末時点
点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある

<橋梁の点検方針>

コンクリート片の落下等による第三者被害の予防並びに路線の重要性の観点から、以下については、最優先で点検を推進

- ・緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋
- ・跨線橋
- ・緊急輸送道路を構成する橋梁

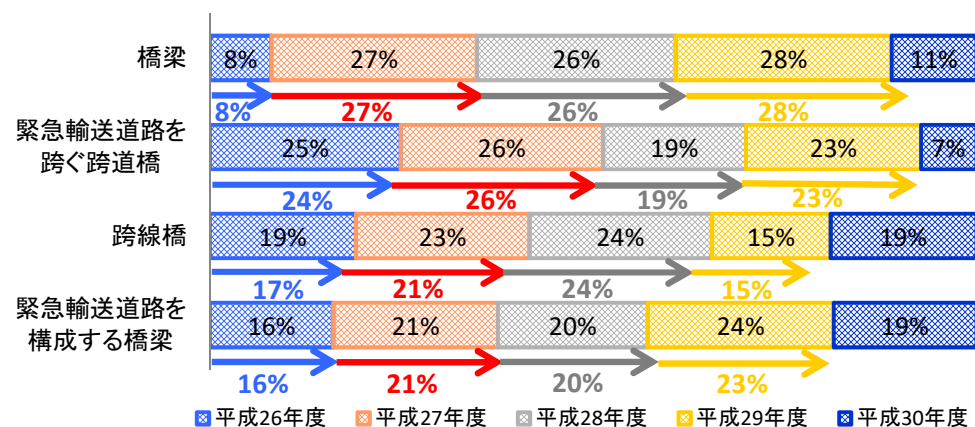
<橋梁点検状況(管理者別)>

管理者	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
国土交通省	547	435	439	80%
高速道路会社	258	218	218	84%
地方公共団体	8,855	7,984	7,958	90%
合計	9,660	8,637	8,615	89%

※ H30.3月末時点

- 最優先で点検すべき橋梁の点検実施率（平成29年度まで）は、
緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋約92%、跨線橋約76%、緊急輸送道路を構成する橋梁約79%である。
- 跨線橋の点検には、鉄道事業者との協議や調整に時間を要するなどの課題が存在するが、ほぼ全ての鉄道事業者と今後の点検計画を確認しており、平成30年度までにすべての点検が完了する見込み。

＜最優先で点検すべき橋梁の点検計画と平成26～29年度の実施状況＞



	管理施設数	点検計画数 (H26～H29)	点検実施数 (H26～H29)	点検実施率 (H26～H29)
橋梁	9,660	8,637	8,615	89%
緊急輸送道路 を跨ぐ跨道橋	194	179	178	92%
跨線橋	85	68	65	76%
緊急輸送道路を 構成する橋梁	1,792	1,445	1,409	79%

※ H30.3月末時点
点検実施率は、端数により左図と合わない場合がある
跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

- 宮崎県の橋梁の点検結果は、
 判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0橋、
 判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は75橋（2.8%）、
 判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は732橋（27.3%）。

<平成29年度管理者別点検結果(橋梁)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	547	168	132	30	6	0
高速道路会社	258	82	26	53	3	0
都道府県	2,009	343	92	216	35	0
道路公社	17	0	0	0	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	6,829	2,092	1,628	433	31	0
合計	9,660	2,685	1,878	732	75	0

※ H30.3月末時点

- 宮崎県のトンネルの点検結果は、
 判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0本、
 判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は23本（37.7%）、
 判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は38本（62.3%）。

＜平成29年度管理者別点検結果(トンネル)＞

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	44	16	0	15	1	0
高速道路会社	19	0	0	0	0	0
都道府県	120	40	0	23	17	0
道路公社	0	0	0	0	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	61	5	0	0	5	0
合計	244	61	0	38	23	0

※ H30.3月末時点

- 宮崎県の道路附属物等の点検結果は、
 判定区分Ⅳ（緊急に措置を講ずべき状態）は0箇所、
 判定区分Ⅲ（早期に措置を講ずべき状態）は6箇所（6.3%）、
 判定区分Ⅱ（予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）は42箇所（43.8%）。

<平成29年度管理者別点検結果(道路附属物等)>

管理者	管理施設数	点検実施数	判定区分内訳			
			I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	153	42	21	16	5	0
高速道路会社	112	48	25	22	1	0
都道府県	93	0	0	0	0	0
道路公社	5	0	0	0	0	0
政令市	0	0	0	0	0	0
市区町村	40	6	2	4	0	0
合計	403	96	48	42	6	0

※ H30.3月末時点

＜各構造物の平成30年度の点検予定＞
全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
橋梁	9,660	781	2,603	2,524	2,707	1,007
トンネル	244	44	25	38	65	66
道路附属物等	403	42	65	101	96	98

精査中

＜最優先で点検すべき橋梁の平成30年度の点検予定＞
全道路管理者の合計

道路施設	管理施設数	H26点検実施数	H27点検実施数	H28点検実施数	H29点検実施数	H30点検計画数
緊急輸送道路を 跨ぐ跨道橋	194	47	51	36	44	15
跨線橋	85	14	18	20	13	19
緊急輸送道路を 構成する橋梁	1,792	284	376	347	402	368

※跨線橋は、歩道橋(跨線橋)を含む

①道路構造物管理実務者研修（九州技術事務所）

- ・九州地方整備局では、九州地方整備局職員及び地方公共団体等の職員を対象に「道路構造物管理実務者研修」を実施しています。
- ・平成30年度研修の現時点での応募状況は以下のとおりです。

H30.6.30現在

	橋梁初級Ⅰ（Ⅰ期） （募集終了） 8月6日～8月10日（5日間）	橋梁初級Ⅰ（Ⅱ期） （定員40名） 10月1日～10月5日（5日間）	橋梁初級Ⅱ （募集終了） 8月27日～8月29日（3日間）	トンネル初級 （募集終了） 10月9日～10月12日（4日間）	機関別 合計
整備局	6	3	12	11	32
福岡県	4	0	1	1	6
佐賀県	8	2	4	0	14
長崎県	0	0	4	1	5
熊本県	1	2	0	0	3
大分県	2	2	3	2	9
宮崎県	5	4	4	3	16
鹿児島県	5	3	2	4	14
その他（公社等）	2	2	4	1	9
合 計	33	18	34	23	108

《参考》 研修の目的

橋梁初級Ⅰ研修	道路橋、土工構造物等の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得することを目標とする。（職員自らに定期点検を行わせる場合の第一ステップ）
橋梁初級Ⅱ研修	道路橋に関する点検の知識、並びに補修・補強の工法選定の判断に必要な基礎的知識を習得することを目標とする。
トンネル初級研修	トンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及び道路トンネルの補修・補強の基礎的知識を習得することを目標とする。



橋梁初級Ⅰ研修の状況

◆道路構造物管理実務者研修

目 的：地方公共団体の職員の技術力育成のため、
点検要領に基づく点検に必要な知識、技能等を取得する。

対 象：地方公共団体職員及び直轄職員

時 期：橋梁初級Ⅰ（Ⅰ期）平成29年7月31日～8月4日（5日間）

橋梁初級Ⅰ（Ⅱ期）平成29年9月25日～29日（5日間）

橋梁初級Ⅱ 平成29年8月23日～25日（3日間）

トンネル初級 平成29年10月10日～13日（4日間）

受講者：（平成29年度実績）宮崎県内から12名受講

橋梁初級Ⅰ 8名（都城市1名 延岡市1名 小林市2名 三股町2名 木城町2名）

橋梁初級Ⅱ 2名（都城市2名）

トンネル初級 2名（小林市2名）

場 所：九州地方整備局 研修所

（九州技術事務所内 福岡県久留米市）

（参考）

■橋梁初級Ⅰ

道路橋、土工構造物等の定期点検に関して、最低限必要な知識と技能を習得することを目標とする。（職員自らに定期点検を行わせる場合の第一ステップ。）

■橋梁初級Ⅱ

道路橋に関する点検の知識、ならびに補修・補強の工法選定の判断に必要な基礎的知識を習得することを目標とする。

■トンネル初級

トンネルの定期点検に関する最低限必要な知識と技能、及び道路トンネルの補修・補強の基礎的知識を習得することを目標とする。



橋梁初級Ⅰ研修の状況

◆橋梁維持管理研修

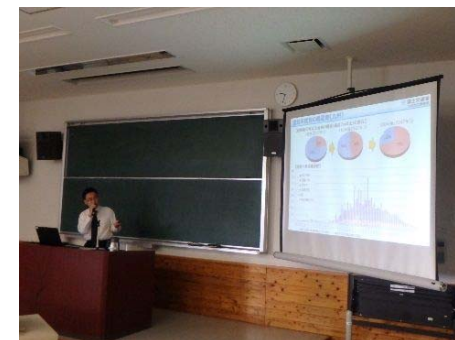
目的：橋梁点検、診断などに関する基礎的な知識の習得を図る。

対象：宮崎県職員、市町村職員、民間技術者

時期：平成29年10月24日～25日(2日間)

受講者：県市町村職員27名、民間技術者44名 計71名

場所：宮崎県建設技術センター(宮崎市清武町)



《1日目》

- ①橋梁メンテナンス
- ②橋梁の長寿命化に向けて
- ③コンクリートの劣化機構
- ④橋梁塗装の維持管理

《2日目》

- ⑤橋梁点検の要点
- ⑥橋梁維持管理と橋梁構造のポイント
- ⑦橋梁の補修、補強(上部工、下部工、耐震)



平成30年度は、10月18日(木)～19日(金)

場所:宮崎県庁7号館744会議室

日時:平成30年2月19日(月)~20日(火)

対象者:県・市町村職員 合計28名

講義①あいさつ

②橋梁点検について

③橋梁診断について

④グループワーク

⑤質疑応答

現場(一般県道中村木崎線 木崎橋・木崎橋側道橋)

①橋面と桁下の損傷の説明等

②橋梁点検の実施

③質疑応答



(現場の状況)



(講義の状況)



(グループワークの状況)

平成29年度 橋梁点検現場研修会(延岡地区)

平成29年12月6日(水) 13:30～16:00

座学 延岡高速道路維持出張所 会議室

1. 橋梁の基礎知識
2. 橋梁点検のポイント
3. 変状の判定区分
4. 変状の判定例
5. 国道10号三足(ミタシ)橋等の概要
6. 質疑応答

現場 国道10号 三足橋 三足橋橋側歩道橋
(宮崎県延岡市北川町長井)

参加 延岡市9名 日向市1名 日之影町2名 計12名

報道 タ刊デイリー新聞

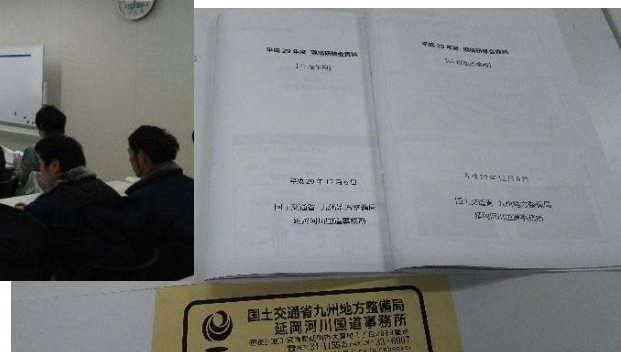


▲現場での概要説明



▲座学

▼研修資料



▲橋梁点検状況



▲平成30年1月23日(火) 児湯地区 国道10号高鍋大橋
1市1町1村1機関 10名

4地区

4市2町1村
2機関

34名



▲1月24日(水) 宮崎地区 国道10号生目高架橋
1町1機関 11名



▲1月25日(木) 都城地区 国道10号溝橋
1市 4名



▲1月26日(金) 日南串間地区 国道220号南郷跨線橋
2市 9名



平成29年度 橋梁耐震補強工事現場研修会
（延岡地区）

平成30年2月22日（木） 13:30～16:00

1. 工事概要 沖田橋建設現場事務所 会議室

2. 現 場 国道10号 沖田橋(P1、P2、P3)
（宮崎県延岡市塩浜町4丁目地先）

参加 延岡市9名 宮崎市2名 計11名



●工事概要

●現 場



▲研修の状況(P2)

▼研修の状況(P1)



夏休み！ 親子で橋の点検を体験しました

橋などの老朽化の現状を広く知っていただくとともに、今、実施しなければならない老朽化対策の必要性を家庭で話題となるように、平成29年8月4日(金)、橋の日に国道220号橘橋(宮崎市橘通西1丁目 宮崎市役所河川敷駐車場)において、親子見学体験会を開催しました。



①橘橋の概要や点検の必要性や重要性を説明



②高所作業車に乗り、橋桁に近づきました



③コンクリートを叩いて、浮いているところの音を確認しました
また、雨水が漏れているところ、鉄筋が出ているところを確認しました

参加者 15名
親子3組を含む。

国道220号橘橋『親子見学体験会』&道路老朽化対策パネル展



(写真上)NHK宮崎放送局

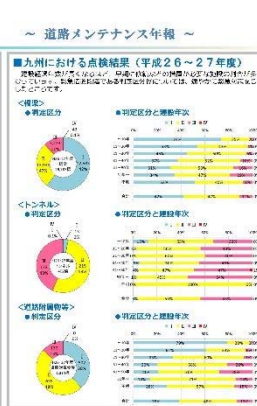
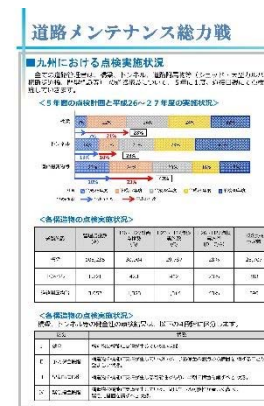
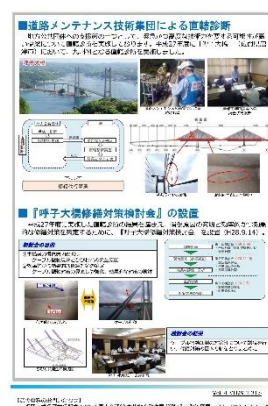
(写真下)宮崎日日新聞

報道各社の取材対応もしていただきました。

情報発信・)))



説明・配付資料(パンフレットなど)



パネル展示状況

職場体験学習 橋梁点検体験（宮崎河川国道事務所）

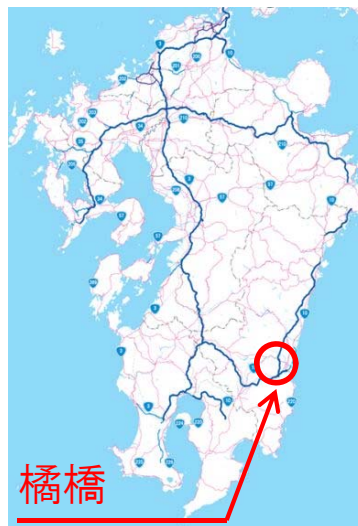
資料-2

実施日 平成29年11月21日(火)10:00～12:00
 実施場所 国道220号 橘橋（宮崎県宮崎市）
 実施主体 宮崎県道路メンテナンス会議 事務局
 （宮崎河川国道事務所）
 参加者 宮崎市立小戸小学校5年生12名 引率 先生1名
 実施内容 橋の老朽化対策の現状を学習し、
 リフト車に乗って橋梁点検などを体験

《橋梁諸元》

- ・渡河河川:大淀川
- ・橋梁形式:6径間連続PC箱桁橋
- ・橋 長:389m
- ・完成年次

上り線側〔延岡方面〕昭和50年(42年経過)
 下り線側〔日南方面〕昭和54年(38年経過)



宮崎県内の建設年度別橋梁数

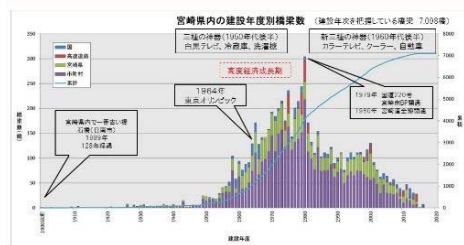


図1の建設年度別橋梁数(2011年)

宮崎県内の橋梁の老朽化が進んでいます。

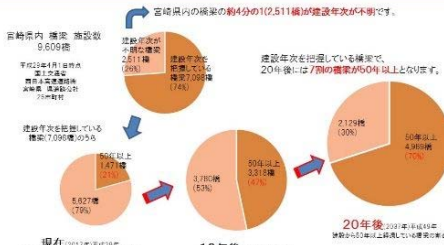


図2の建設年度別橋梁数(2011年)



【橋の老朽化対策についての学習】



【リフト車での打音点検体験】



【箱桁の中での打音点検体験】



【橋台の鉄筋探査体験】



【ドローン操作体験】



【参加者集合写真】
 ～ドローンに向かって～

【橋の老朽化対策についての学習 説明用資料】

公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構

公益法人移行5周年記念講演会

2017 10/27 **金** 参加費 無 料

●時間…13:30～16:30 ●定員250名
●会場…宮崎観光ホテル 東館3階

表彰式 研修受講企業等表彰

講演第一部

建設産業政策2017+10 ～若い人たちに明日の建設産業を語ろう～

国土交通省大臣官房地方課長
内田 欽也 (前 宮崎県副知事)

平成2年4月 建設省入省
平成20年7月 国土交通省都市・地域整備局
総務課企画官
平成24年12月 国土交通省土地・建設産業局
建設業課人札制度企画指導室長
平成25年4月 宮崎県副知事
平成29年4月 現職

講演第二部

持続可能な社会資本の維持管理の推進

①「持続可能な橋梁マネジメントの実現に向けて
～富山市スタイル～」

富山市建設技術統括監
植 野 芳 彦

②「道守養成ユニットを活かした活動事例」

公益財団法人長崎県建設技術研究センター
技術部企画研修課長兼情報課長
一 橋 昌 来

お申込みは
裏面→

公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構
〒880-0803 宮崎県宮崎市旭1丁目2番2号 企業局庁舎5階
TEL.0985-20-1830・FAX.0985-20-1850
後援／宮崎県・宮崎県市長会・宮崎県町村会・一般社団法人宮崎県建設業協会・一般社団法人宮崎県測量設計業協会

公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構 のご協力をいただき、
講演会 会場で「道路の老朽化対策」パネル展を実施。



平成29年10月27日(金) 講演会当日
宮崎市 宮崎観光ホテル
講演会 聴講者 約250名

広報（「道路の老朽化対策」パネル展）

資料－2

宮崎県内で「道路の老朽化対策」パネル展を展開

- ◆えびの市
- ◆平成29年12月18日(月)～28日(木) 11日間
8:30～17:15
- ◆えびの市役所 本庁2階 玄関前ロビー
(えびの市大字栗下1292番地)



- ◆事務局
- ◆平成29年12月21日(木)～28日(木) 8日間
8:30～17:00
- ◆宮崎県企業局庁舎 1階 ギャラリー
(宮崎市旭1丁目2番2号)



展示パネルの一例



【マスコミ報道 宮崎日日新聞 県内地域版】

平成29年12月19日(火)付け朝刊 日南・串間 ミニみにミニ点検方法など解説。

日南市ふれあい健やかセンターで道路の老朽化対策パネル展。

平成29年12月22日(金)付け朝刊 児湯・西都 ミニみにミニ道路の老朽化対策を解説。

西都市役所ロビーで、28日までパネル展開催中。

平成29年12月22日(金)付け朝刊 日南・串間 ミニみにミニ橋や道路の老朽化対策紹介。

串間市役所ロビーで社会資本の維持管理パネル展。

広報（「道路の老朽化対策」パネル展）

資料－2

宮崎県内で「道路の老朽化対策」パネル展を展開

- ◆宮崎市
- ◆平成30年1月17日(水)～23日(火) 7日間
09:00～22:00 (休館日 月曜日)
- ◆宮崎市民プラザ エントランス
(宮崎市橘通西1丁目1番2号)



- ◆日向市
- ◆平成30年2月16日(金)～3月2日(金) 15日間
営業時間 05:30～23:50
- ◆JR日向市駅 コンコース
(日向市上町1番19号)



展示パネルの一例



【マスコミ報道 宮崎日日新聞 県内地域版】

平成30年1月7日(日)付け 朝刊 児湯・西都 ミニみにミニ老朽化対策しています。

新富町役場で県内道路のメンテナンス方法などパネル展示。

小学生が橋に近づいて、叩いて音を聞いたり、触ったり、橋梁点検を体験しました。



国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

8月23日

【「橋の日」に親子で点検体験！】

8月4日「橋の日」に国道220号橋橋で、橋の点検を親子で体験する見学会を開催しました。パネル展で老朽化の現状を広く知ってもらうとともに、橋の裏側に高所作業車で近づき、点検ハンマーを使って橋梁点検の体験をしてもらいました。



テレビ(NHK UMKテレビ宮崎)ニュース放映
新聞(宮崎日日新聞)掲載



国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

11月29日 0:00

【小戸小学校5年生が職場体験】

11月21日、今年も5年生12人が職場体験に訪ねていただきました。児童達は、老朽化対策の現状や取組について学習したり、宮崎市役所近くの橋橋で橋の点検を体験したりして、国土交通省の仕事について理解を深めました。



www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp

平成30年度 研修等

新年度早々、大型橋梁点検車の利用頻度の少ない時期に橋の定期点検に着手し、併せて、新富町役場職員を対象に橋梁点検の現場研修会を開催しました。

自治体が使用する「道路橋定期点検要領」の説明や過年度の点検結果の説明のあと、町職員自ら橋桁などに近づいて、触診や打音検査を体験しました。

今年度も引き続き、道路老朽化対策の市町村支援を推進していきます。

国道10号新富橋(下り線・上り線)
宮崎県児湯郡新富町
PC単純ポステンT桁橋2連 1994年架設 24年経過



橋梁点検現場研修会 新富町職員5名
平成30年4月24日(火) 雨

町職員のコメント

「点検に関する資格を取得したい。」

「小規模の橋や溝橋などは、直営で点検診断したいと考えている。」

「現場の重要性を感じた。」



平成30年度 研修等

平成30年5月23日(水)、補修(塗装塗替)工事中の国道220号日南大橋において、日南市建設課の技術職員に対して塗膜除去作業の技術支援を行いました。現場は従来のプラスト工法や電動工具を用いた処理工法に替わり、はく離剤を塗膜に浸透、軟化させ除去する新技術で施工中です。補修工事の概要説明ほか、塗装業者の専門技術者から工法の説明を受けました。

今後も地元自治体へ補修工事の情報提供を行い、道路老朽化対策の技術支援を推進していきます。

平成30年6月4日(月)、国道220号細田橋において、日南市職員(女性技術者を含む)と橋梁定期点検を行い、近接目視点検のポイントを学んでいただきました。宮崎県道路メンテナンス会議の活動の一環で技術支援を行っているものです。

今後も引き続き、道路老朽化対策の地方公共団体支援を推進していきます。



▲ 終点側を望む



▲▼ 近接目視点検(橋脚付近)



▲ コンクリート部材の損傷を確認(起点側 A1橋台)



■市職員の感想

- 橋梁の施工、補修等の経験がないため勉強になりました。定期点検の重要性を理解しました。
- 大型橋梁点検車で近接目視する貴重な体験ができてよかった。
- 海の近くの橋梁であったが、思ったほど腐食していなかった。
- 是非、次の機会をお願いしたい。

■橋の概要

位置 宮崎県日南市
橋長 L=150m
架設竣工 1991(平成3)年
27年経過
形式 5径間鋼単純I桁(合成)
海岸線から約300m

■市職員のコメント

現場を見るのが初めてだった。実際に作業している専門業者の方の説明で、非常に分かりやすく勉強になった。現場での苦労話など興味深い話を聞くことができて良かった。



塗膜除去の試験施工を確認



資料にてポイントを確認



塗膜除去の完了状況を確認

平成30年度 研修等

平成30年5月30日(水)、宮崎県庁会議室において、県道路保全課が主催する平成30年度市町村道事業担当者会議が開催されました。

宮崎県道路メンテナンス会議では、道路の老朽化対策の取り組みとして、『橋の定期点検概論』と題して講義を行いました。

年度当初、県内26市町村の担当者約120名へ道路老朽化対策の必要性や重要性を知っていただくよい機会になりました。

今後も引き続き、地方公共団体支援を推進していきます。

平成三十年五月三十日(水) 日直
 会議次第

一、 あいさつ
 二、 市町村道事業全般
 三、 市町村道事業
 四、 市町村道事業事務手続き及び
 社会資本整備総合交付金システム
 五、 交通安全事業等
 六、 生活道路の交通安全の確保に向けた
 取組の推進
 七、 交差点協議等
 八、 道路法の手続き
 九、 鋼道路橋の塗装塗替え工事
 十、 道路橋定期点検概論
 十一、 宮崎県市町村橋梁長寿命化推進協議会
 作業部会の状況
 十二、 質疑応答
 十三、 意見交換会

facebookもご覧ください。
 宮崎河川国道事務所
www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp



▲ 教鞭を振るう森総括保全対策官(左上)



▲ 真剣に聞き入る担当者